

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和7年9月29日

和泉市長 あて

団体名 ことわ会

代表者名 平野恵造

所在地 和泉市いぶき野 1-10-9

電話番号 0725-55-6671

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	箏の音色が響くやすらぎの街づくり -お箏大好き仲間あつま〜れ-
申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース ■ ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
事業費総額	_____ 489,450 円 (うち、対象経費 _____ 489,450 円)
支援金 交付申請額	_____ 244,000 円

1. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

団体概要調書

フリガナ	コトワカイ		
団体名	ことわ会		
団体の目的	3歳～100歳まで箏の合奏で、心身健康！元気いっぱい！笑顔あふれる町作り		
市内事務所の所在地	〒594-0041 和泉市いぶき野 1-10-9 【専用事務所 ・ 住居と兼用 ・ その他（ ）】		
	電話	0725 (55) 6671	FAX ()
フリガナ	ヒラノ エイソウ		
代表者氏名	平野 恵造		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをした ときに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※	電話	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■
	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■	FAX	()
	(住所) 上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。		
設立年月	2016年 9月	主な活動地域	和泉市
会報等の発行	有 (4回発行) ・ 無	会員数	30人
メールアドレス	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■		
ホームページ	http://		
主な事業内容	①「お箏の体験会」を継続し、初めての人も箏に親しむ機会を設ける。体験会参加者が地域の公民館や施設で「箏の演奏・体験」のボランティア活動をする。 ②幼稚園・小学校で「箏の演奏・体験会」を開き箏に親しむ機会を設ける。優しい音色を心に刻む。		
主な活動の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「お箏の一日体験会」（コミュニティセンター）の継続 ・「お箏の無料体験会」（アイあいロビー・総合福祉会館）の開催 ・いきいきサロン、公民館、介護老人施設、青少年センター・幼稚園 小学校で演奏・体験会の開催 ・桃山学院大学チャペルの演奏会参加 ・松尾寺・リサイクル公園で「箏のしらべ」演奏会開催 		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間)	年度	名称	金額(円)
	令5 年度	和泉市男女共同参画推進事業(オアシス)	65,000

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

1 事業名	<p>箏の音色が響くやすらぎの街づくり -お箏大好き仲間あつま〜れ-</p>
2 申請コース	<p>(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input checked="" type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース</p>
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
<p>①事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等 a. いじめの低年齢化や不登校の子どもが増えている。 b. 市民、特に高齢者の中には、趣味を持たず家に閉じこもりがちな生活を送り、地域で孤立する人々も多い。人生 100 年時代を迎え、心身とも健康寿命を延ばすことが求められる。</p> <p>②事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果 a. 幼い頃にやすらぎの箏音を心に刻み、仲間と合奏する楽しさに触れる。これにより、いじめの萌芽を防ぐ。 b. 音楽演奏は脳機能を活性化するといわれている。さらに、成人・高齢者には合奏による『協働』の楽しさを生活の一部に取り込み、QOL を高めて健康寿命の増進に役立てる。 c. お箏三昧参加や合奏ボランティア活動参加をめざし、目標を持って生活意欲を高める。 d 日本の伝統楽器、尺八・三味線に 17 弦と 13 弦箏の合奏により、日本の伝統音楽への親しみや 関心を高め、日本の伝統音楽を広める。</p>	
4 事業内容（※別紙添付可）	
<p>①問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。 a-1. 他市で幼稚園・小学校の「箏の演奏・体験会」の要望が増えている。和泉市では青少年センターで 2025 年春休み・夏休みの長期休暇中に体験学習として取り入れられたものの、子ども数の減少に加え、習い事など多忙な生活スタイルをとる子どもたちが多く希望園・校の応募が進まない。箏に触れて演奏し、さらに自分たちで発表企画を練ることは、子どもの完成情緒を豊かに育み、達成感を持つことは非常に意義深いことであるため、今後も団体として、体験会の内容の充実を図るなどして応募数増加に取り組んでいく。</p> <p>a-2. 箏を身近に触れる機会を作るため、行楽シーズンにリサイクル公園で「箏の調べ」屋外演奏・体験会を 2025 年 11 月 1 日に開催した。満開のコスモスを観賞しようと集まった老若男女の親子連れの行楽観光客に年齢・性別・障がいの有無を問わず、一緒に箏のやすらぎの響きを味わう機会を作った。今後も継続したい。</p> <p>b-1. ・「お箏三昧体験会」：未経験者や練習する機会がない経験者にコミュニティセンターで半日たっぷり箏を演奏する企画を月に 1 回継続してきた。初心者も 1 回の参加で易しい曲を演奏できるようになり、最後に皆で合奏をしてその日の成果を確認し達成感を持って帰ってもらっている。2025 年度参加者は月 3 名であった。 ・令和 6 年度に和泉市文化協会に入会し、新年の弾き初め「お箏のしらべ」に参加する。「箏三昧」活動参加の成果を披露し、箏を学び・楽しむ機会がすぐそばにあることを知ってもらう。 ・総合福祉会館、アイ・あいロビーで当日参加型の「学び・買い物帰りの箏体験」を実施して、箏に親しむ機会・合奏する機会を広める。2025 年度参加者は月 3 名であった。</p>	

	<p>b-2. コミュニティセンターの「箏三昧」参加者、総合福祉会館、アイ・あいロビーの参加者が市内の福祉施設・公民館で「箏演奏・体験会」のボランティア活動に参加する。この循環で、癒しの箏音に親しみ・演奏・合奏する機会を広げていく。2025年には概ね月に1~2回のボランティア活動に箏三昧の参加者の半数程度が参加した。</p> <p>c. 桃山学院大学チャペル(2025年11月23日の学園祭)・松尾寺(2025年10月26日)で箏演奏を披露した。</p> <p>d. ボランティアフェスタ(アムゼモール2025年10月19日箏演奏)、まちゼミ(光明台中学校で「100歳の趣味は箏演奏」の授業の講義と体験会)に参加した。今後も多くの住民が鑑賞・体験できる機会を設ける。相互交流の場として箏演奏を取り入れることで。ことわ会事業「箏の音色が響くやすらぎの街づくりーお箏大好き仲間あつま〜れー」を進める。</p>
②実施期間(日時)	令和8年4月1日~令和9年3月15日
③実施場所	<p>a. 和泉市内の幼稚園・保育所および小学校・リサイクル公園</p> <p>b-1. コミュニティセンター。総合福祉会館、アイ・あいロビー、</p> <p>b-2. 和泉市内の町会・自治会館等・イキイキサロン・いこいの家、介護老人施設他。</p> <p>c. 桃山学院大学チャペル・松尾寺</p> <p>d. アムゼモールひろば</p>
④主な対象者	和泉市在住の幼稚園児から高齢者まで(年齢・性別・障がい・経験不問)
⑤参加予定者数	<p>a. 和泉市内の幼稚園・保育所(3予定) 3×20人(60人)</p> <p>小学校(5予定) 5×4(クラス)×30人(600人)</p> <p>中学校(2予定) 2×4(クラス)×30人(240人)</p> <p>b-1. ・コミュニティセンター(12回/年)12回×15人(180人)</p> <p>・コミュニティセンター「弾き初め会」(会場定員2/3)224人</p> <p>・総合福祉会館(4回/年「年齢・経験不問、手ぶらで体験」「機能訓練者の箏体験」など)4回×6人(24人)</p> <p>・アイ・あいロビー(12回/年、「買い物帰りに箏体験」「ランチの前に箏演奏」他の企画を予定)12回×3人枠×3枠(108人)</p> <p>b-2. 和泉市内地域公民館・いこいの家、介護施設他10施設(予定)10回×20~40人(2~400人)</p> <p>c. リサイクル公園・松尾寺100人</p> <p>d. アムゼモールひろばボランティアフェスタ100人</p>
⑥告知方法	<ul style="list-style-type: none"> ・和泉市ホームページ・広報誌に掲載、地域のコミュニティ誌掲載 ・市内店舗にポスター掲示 ・市役所および支所・図書館、コミュニティセンター、総合福祉会館、アイ・あいロビーにチラシ配布 ・和泉市内地域公民館・いきいきサロン・いこいの家、老人介護施設他などに訪問・チラシ配布 ・和泉市のイベント時(モアいずみ「映画会」弥生の風ホールで300枚)チラシ配布 ・行楽シーズンにリサイクル公園で屋外演奏会「箏の調べ」を開催し、老若男女・子連れの家族・国外の方など行楽観光客に箏のやすらぎの響きを味わう機会を作る。またこの場で「箏三昧体験会」を呼び掛けるチラシを配布

	<ul style="list-style-type: none"> ・松尾寺で「箏の調べ」を開催、「箏三昧体験会」を呼び掛けるチラシを配布
5 事業スケジュール	
時期（月）	内容
4月	定例会を月二回開催（翌々月の行事の決定・参加者募集・集客プランに基づきチラシ配布。翌月の参加応募者の登録と追加応募者の募集。当月の実施計画：選曲・当日配置、実施・反省会と次回詳細案の修正・作成）随時施設訪問の依頼・幼稚園学校の体験依頼を検討・実地 運営会議（事業年度の実績を評価・反省の基にして新年度目標を建てる） リサイクル公園春・秋季屋外箏演奏会「箏の調べ」実施計画・演奏者選定・交渉。当日詳細計画作成・案内手紙発送
5月	和泉の国 JAZZ STREET 会場・久保惣コンサートホール演奏の応募検討。 リサイクル公園春季屋外箏演奏会準備・集客実施・終了後事業成果の評価
6、7月	和泉の国 JAZZ STREET 会場・久保惣コンサートホール演奏の応募
8月	秋季屋外箏演奏会「箏の調べ」実施計画,演奏者選定・交渉。詳細計画作成。 運営会議（事業年度半ばの実績の評価・反省を基に新年度目標を見直す）。 弾き初め会の参加者募集と選曲・練習計画立案
9、10月	これまでの参加者の活動チェック・支援方法の検討
11月	他団体との協働で和泉の国 JAZZ STREET 会場・久保惣コンサートホール演奏練習・実施・反省会。
12月	リサイクル公園秋季屋外箏演奏会準備・集客実施・終了後反省会 弾き初め会準備・集客プランに基づきチラシ配布。集客手紙配布。
1～3月	弾き初め会実施・終了後反省会 発表会準備・チラシ配布・案内手紙発送（これまでの参加者の参加募る） 発表会準備・集客実施・終了後反省会 運営会議（事業年度の実績を評価・反省の基にして新年度目標を建てる） 春・秋屋外箏演奏会「箏の調べ」実施計画・演奏者選定・交渉。当日詳細計画作成・案内手紙発送。
6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2 審査基準参照 （実施事業について、どういう点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。）	
①公益性	①和泉市在住の幼稚園児から高齢者まで、年齢・性別・障害の有無・経験を問わず広い住民層をカバーする事業である。 ②保育付きの箏三昧活動で参加しやすく、箏三昧活動中は誰でもが箏にどっぷり向き合える。これにより心の解放になる。 ③参加し箏音に癒され語り合ういい場となる。 ④高齢の方や障がいのある方を含む幅広い方々に楽しく演奏していただけるよう、身体への負担が少ない「座奏」による演奏や、箏柱の位置を調整して調弦するなど、一人ひとりの状況に応じた配慮を行うなど、サポート体制を整える。
②継続性	①コミュニティセンターの「箏の体験会」参加費用は 350 円/回で廉価 ②総合福祉会館・アイあいロビーでの「箏の体験会」で、無料で市役所近くや、和泉中央付近での活動も選べる。
③実行性	①令和3年度の事業開始以来、参加者は漸増し、市民の声に呼応した取り組みである。 ②ことわ会の構成員の多くは、和泉市の成人箏教室で 10 年もの間、優れた指導者から指導を受けた経験がある。その後も優秀な指導者を招き演奏技術の向上に努めている。

	<p>これにより、参加者が主体的に演奏・体験会を開催して箏の癒しの音色を拡げる場が作られつつある。さらに、リサイクル公園施設長・松尾寺住職とも緊密な連絡を取り、箏演奏会・体験会開催に理解と協力を得られる状況である。</p> <p>③座奏での演奏が高齢者のみならず、若年層においても箏演奏を敬遠する原因の一つになっている。コミュニティセンター・文化協会に窮状を訴え、今後も立奏台の購入請求を続け、誰もが「お箏三昧」に参加し易い環境を作るこれを今年度達成するため、リサイクル公園施設長や、松尾寺ご住職を頻回訪ね、取り組み趣旨を説明し、施設の活性化にも貢献できることを理解頂き、次の開催も期待できる関係を作っている。</p>
④協働性	<p>①世代や地域を超えて幅広い層を含めた協働活動である。</p> <p>②モアいずみ、アイあいロビーに団体登録している。ことわ会等参加者がことわ会を核として市内諸施設に出張して箏を演奏し箏の優しい音色を聴く癒しの機会を設ける。またその利用者・利用者家族・施設関係者の「体験会」を積極的に設け箏に気軽に触れる機会を作り、音楽を聴くこと・演奏することがQOL 高める契機となり人生百年時代に役に立つことを願っている。出張演奏に参加する会員同士の交流が活発になり、健康増進に繋がる。</p>
⑤公開性	<p>①行楽のシーズンには戸外に出て、さらに箏・17 弦に日本の伝統楽器尺八・三味線を加えて屋外演奏会「箏の調べ」を開催する。広く国籍問わず、行楽客に箏のやすらぎの音色・伝統楽器の演奏が醸し出す幽玄な音色に楽しみ、親しむ機会を作る。さらにこの場で箏・尺八の対験会を企画し、幼児から高齢者、性別問わず、ともに楽しむ機会を気軽に作る。</p> <p>⇒泉北コミュニティ誌や団体で作成したパンフレットを各機関に（図書館等）に設置するなど、開催に向けて積極的に周知している。</p> <p>②本事業を会報・定期的に会報の発行・ポスターやチラシの配布、広報誌・地域誌への掲載し本事業についての情報を発信する。</p> <p>③人通りの多い（アイ・あいロビー他）場所で体験を併せた練習の機会を増やす、これによっても「箏の一日体験会」参加の契機を作る。</p> <p>⇒人通りが多い場所で実際に演奏を見て興味を持ってもらい、無料の体験会に参加してもらうように取り組んでいる。</p> <p>④市内介護施設などに出張して「箏の演奏・体験会」として施設利用者・利用者家族、施設関係者に対しても箏に触れる機会をつくり、地域交流の促進や高齢者の健康増進に繋げる。</p> <p>⇒団体として積極的に介護施設へ連絡を取り、実施に向けて取り組んでいる。</p>
⑥発展性 (先駆性・ 展開性) (集客性)	<p>①リサイクル公園での屋外演奏会「箏の調べ」（2025 年度は 11 月コスモス満開時期に 1 回）では、老若男女問わず箏のやすらぎの響きに足を止めるが多かった。今後は施設長や住職の理解協力が得られ年 2 回の行楽シーズンに開催を予定している。</p> <p>②コミュニティセンターの「箏三昧体験会」は集中的に箏に向かって当日に体験曲を仕上げる達成感とともに、合奏の楽しみを堪能できる。また、参加者の内、ことわ会メンバーと一緒に「演奏・体験会」に参加したメンバーはボランティア活動の喜びを経験する。さらに、今後は参加者が自主的に仲間を作って「演奏・体験会」を主体的に開く支援をしたい。他の領域での参加者が発展させる活動モデルとして広がると考える。</p> <p>③尺八演奏グループと 2025 年 11 月 23 日桃山大学祭、フルート演奏グループと 2025 年 11 月 22 日第 6 回大人遊びコンサートに協働した企画に積極的に参加した。今後も継続の予定である。</p>

	<p>④これらの尺八・フルートと協働して和泉の国 JAZZ STREET・久保惣コンサートホールでの演奏でさらに活動範囲を拡げて、ことわ会の事業目標—和泉市の恵まれた自然、歴史の魅力に触れながら、幼稚園児から高齢の人々が箏に親しむことにより、『スマイル（住まう・居る）』和泉市づくりを広める。</p> <p>⑤まちセミ・IZUMI2025 に普通授業と体験授業の 2 コマで参加した。事業名は 100 歳の趣味が箏演奏を目標として「箏の音色が響くやすらぎの街づくり-お箏大好き仲間あつま〜れ-」とした。</p>
--	---

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支予算書

事業の名称：箏の音色が響くやすらぎの街づくり-お箏大好き仲間あつま〜れ-

1. 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	積算根拠
支援金	244,000	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	63,000	参加費 350 円×15 人×12 回
自主財源	182,450	有償ボランティア活動収入、会費
合 計	489,450	

2. 【支 出】

(単位：円)

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	220,000	演奏者謝礼（演奏会「箏の調べ」） 3,000 円（×4 時間）×2 人×4 回（箏の調べ） 96,000 保育者謝礼 1,000 円（×4 時間）×2 人×12 回（体験会） 96,000 1,000 円（×7 時間）×2 人×1 回（弾き初め会） 14,000 1,000 円（×7 時間）×2 人×1 回（発表会） 14,000
旅費	134,000	演奏者 2000 円×2 人×2 回 8,000 （自宅から和泉中央駅までの交通費） 体験会スタッフ 1,500 円×6 人×12 回 108,000 弾き初め会スタッフ 1,500 円×6 人×1 回 9,000 発表会スタッフ 1,500 円×6 人×1 回 9,000 （自宅から和泉市コミュニティセンターまでの交通費）
消耗品費	24,600	貸出用爪（マジックテープ付き）4,200 円×3 12,600 コピー用紙 A4 版 2,000 円 2,000 インク 2500 円×4 10,000
食糧費	3,600	スタッフ作業時飲料代（5~10 月）100 円×6 人×6 回 3,600
印刷製本費	6,000	カラーチラシ片面 50 円×100 枚、白黒チラシ片面 A3 版 10 円×100 枚
役務費	17,000	春・秋季屋外演奏会「箏の調べ」・弾き初め会の案内 60 人（コミセン「箏の体験会」全参加者の 1/3）×3+ 20（関係幼稚園・小中学校 10、関係施設 10）×85 円 （はがき代）
使用料及び賃借料	84,250	貸箏（コミセン体験会）150 円×21 面×12 回 37,800 会場費（コミセン体験会；教養娯楽室） 750 円×4（13 時~17 時）×12 回 36,000 会場費（シティプラザ発表会：翔泉亭） 10,450
合 計	489,450	
対象経費	489,450	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。